

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）
『次世代海洋資源調査技術』推進委員会（第4回）
議事要旨

1. 日時：平成27年1月27日（水）15：00－17：00

2. 場所：中央合同庁舎4号館12階 1208特別会議室

3. 出席者：（敬称略）

（総合科学技術・イノベーション会議） 久間 和生 常勤議員、SIP ガバニングボード議長

（議長） 浦辺 徹郎 プログラムディレクター(PD)

（PD代理/SubPD）浦 環 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長、特別教授

（SubPD） 辻本 崇史 （独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

堀田 平 （独）海洋研究開発機構 理事

（有識者） 竹内 俱佳 電気通信大学 名誉教授

浅田 昭 東京大学生産技術研究所海洋探査システム連携研究センター長 教授

林 謙一郎 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球進化科学専攻 教授

巻 俊宏 東京大学生産技術研究所海中工学国際研究センター 准教授

山脇 康 日本郵船株式会社 顧問

（関係省庁） 藤田 雅之 総合海洋政策本部事務局 参事官

清浦 隆 文部科学省海洋地球課 課長

山内 智生 総務省情報通信国際戦略局 宇宙通信政策課 課長

河野 順 国土交通省海事局海洋・環境政策課 技術企画室 室長

池田 直太 国土交通省港湾局海洋・環境課 海洋利用開発室 室長（代理出席）

嶋田 章 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室（代理出席）

（実施機関） 木川 栄一 （独）海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター研究開発センター長

磯崎 芳男 （独）海洋研究開発機構 海洋工学センター センター長

山崎 徹 （独）産業技術総合研究所 地質情報研究部門地殻岩石研究グループ
主任研究員（代理出席）

矢野 博之 （独）情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 所長

田村 兼吉 （独）海上技術安全研究所 研究統括主幹

福田 功 （独）港湾空港技術研究所 理事

河地 正伸 （独）国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生物資源保存研究推進室 室長

（オブザーバー）

文部科学省、経済産業省、総務省、国土交通省・海事局、国土交通省・港湾局、環境省、内閣官房総合海洋政策本部事務局、（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構、（独）海洋研究開発機構、（独）産業技術総合研究所、（独）情報通信研究機構、（独）海上技術安全研究所、（独）港湾空港技術研究所、（独）国立環境研究所、（一社）海洋調査協会、次世代海洋資源調査技術研究開発組合

（事務局） 田沼 知行 内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官

山本 大介 内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議事

(1) 調査検討ワーキンググループの報告

実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発 実施内容説明（民間企業）

- ・次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES）
- ・（一社）海洋調査協会

(2) 1/2 3 公開シンポジウム（『海のジパングを目指して』）開催報告

5. 配付資料

資料 1-1 民間企業実施内容（次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES））

資料 1-2 民間企業実施内容（（一社）海洋調査協会）

資料 2-1 1/2 3 公開シンポジウム（『海のジパングを目指して』）開催報告

参考資料 1 SIP 次世代海洋資源調査技術 研究開発計画

参考資料 2 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会 構成員名簿

参考資料 3 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会（第 3 回）議事要旨

6. 議事要旨

議事に先立ち、浦辺 PD 及び久間議員から挨拶があった。また、新たに推進委員に加わった山脇委員からの挨拶があった。なお、議事（3）、（4）は、評価など検討段階の審議事項が含まれるため、非公開とする旨、説明があった。

(1) 調査検討ワーキンググループの報告

実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発 実施内容説明（民間企業）

①次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES）

資料 1-1 に基づき、次世代海洋資源調査技術研究組合より、説明があった。

②（一社）海洋調査協会

資料 1-2 に基づき、（一社）海洋調査協会より説明があった。

(2) 1/2 3 公開シンポジウム（『海のジパングを目指して』）開催報告

資料 2-1 に基づき、管理法人である海洋研究開発機構より、報告があった。

以上